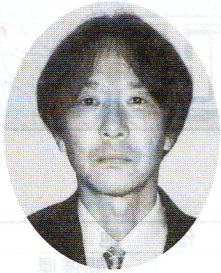


**平成 23 年度
県協会事業計画**
静岡県バドミントン協会
理事長 杉山 敏充



去る3月11日の東日本大震災における被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げますとともにお亡くなりになられました方々に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、平成23年度静岡県バドミントン協会「総会」が去る4月30日(土)に開催され、本年度の事業計画案が提案され承認されました。本年度は協会の柱である『協会規約』の一部改正を行い、競技団体としての目的である競技の振興と競技力の向上を一段と強固なものとし、協会組織の運営・充実並びに各連盟・専門委員会及び会員の活発な活動に向けて組織を挙げて遂行するというものであります。

具体的には、先ず競技力向上策としてはジュニアの育成・強化のために指導者の指導力アップを図るための公認バドミントン指導者の養成(上級指導員・指導員のための資格講習会・義務研修会)を拡大し、併せて競技審判員(2級・3級・準3級の資格講習会)の養成を推進し、同時に地域におけるジュニア指導者、小学生連、中体連、高体連・レディース連などの指導者に対する技術支援としての講習会を東部・中部・西部の各地区において実施し、コーチング知識のフォローアップや技術・戦術・トレーニング法などより高い

技術指導力の向上や情報の共有化を図るなどバドミントンの競技的魅力を広く現場に生かして頂くというものであります。

次には、24・25年度に予定される全国大会の開催準備や県内大会の円滑な活動及び前年度発足の障害者支援普及活動の推進などの事業計画が重点目標となっております。

また、県協会への会員登録人数につきましては特に小・中学生の増加を一段と期待したいものですが、国際的にも活躍しているメジャー競技種目はすべてこのジュニア層の占める登録割合が極めて高いといったこともあり、これは普及が強化発展の表れであることを示しておりますので何卒皆様の更なるご協力をお願いいたします。

今、スポーツは文化として世代を問わず私たちの生活に心地よく密着し、健康的な思考における大きな役割と効果をもたらしてくれております。スポーツには私たちの心に感動と計り知れないほどの活力を生み出す魔力というものがありませんが、県協会としましてはバドミントン競技を通じて人々に夢と希望とそして少しでも社会に貢献できるような選手の育成に真摯な取り組みを心がけるものでございます。

今回の大震災においても被災され絶望のどん底に追いやられたなかにあっても冷静さと秩序・礼節を失わず明るく強く立ち向かう被災者の皆様に対しても、今、私たちのスポーツを通じてその復旧・復興に向けての大きな原動力とも成り得る出来る限りの支援をしなければならないと考えるものであります。今年度も円滑な事業の推進に会員の皆様方の更なるお力添えを切にお願い申し上げます。

御殿場西高等学校バドミントン部

誇りを持ってプレーを

顧問 大箕 智



御殿場西高校にバドミントン部が発足したのは昭和60年ですので、今年で創部26年目になります。創部した頃は、女子は富士宮東、男子は沼津学園(現在の飛龍)高校が強く、全国大会に出場していました。本校の目標は当初、県大会に出場することでしたが、目標を達成するまでに7年を費やしました。その後、県大会には出場出来るようになりましたが、目標も更に大きくなり、東海大会や全国大会に出場する事変わってきました。しかし、高校からバドミントンを始めた生徒を、東海大会や全国大会に出場させる事は至難の業です。ところが、「御殿場ジュニア」の誕生により小学生でバドミントンを経験した子供たちが入部す

るようになり、創部20年目で東海大会へ出場、23年目で全国大会へ出場する事が出来ました。また、卒業生の中には社会人や大学で活躍する生徒も出ています。部訓は「感謝心」。日々バドミントンができる環境にあることに、感謝する事を生徒に伝えています。今後の目標は、全国大会等で更に上位に進出する事。そして、御殿場市のバドミントンの益々の発展を図る事です。

静岡女子高等学校バドミントン部

全国大会出場を目指して

顧問 萩原 敬晃

日々全国大会出場に向けて練習しています。技術だけでなく、高校生として恥じることがないよう、一生懸命活動しているチームです。

